

令和4年4月20日（水）
国土交通省関東地方整備局
常陸河川国道事務所

記者発表資料

「R3国道50号水戸市泉町歩道橋製作架設工事」において、
「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」「間接工事費
実績変更方式」「見積活用方式」等を試行します。

工事発注において、予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調が予測される工事について不調不落対策を試行しております。

今回発注する「R3国道50号水戸市泉町歩道橋製作架設工事」について、以下のとおり不調・不落対策を採用します。

①「公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）」

競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

②「間接工事費実績変更方式」

安全費、運搬費、営繕費において、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されるため、その妥当性を確認のうえ、実績により共通仮設費（率分）について変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

③「見積活用方式」

本工事は、市街地の狭隘な区間における施工となるため、作業効率が低下することが懸念されます。このため、入札者からの見積提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

見積を求める工種は、標準的な積算と乖離が予定される工種より選定しています。

④「難工事指定」

工事を適切に完成させた場合、その後の発注工事における総合評価項目「難工事施工実績評価対象工事（試行）」を加算対象とする「難工事指定」を採用します。

発表記者クラブ

茨城県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会

お問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所

電話 029-240-4061 FAX 029-240-4081

副所長（道路） たかはし さとし 高橋 哲 おざわ ひでゆき 道路管理第二課長 小澤 秀之

■ R3国道50号水戸市泉町歩道橋製作架設工事

《工事概要》

- (1) 工事名：R3国道50号水戸市泉町歩道橋製作架設工事
- (2) 工事場所：茨城県水戸市泉町1丁目地先
- (3) 全体工期：契約の翌日から令和5年3月31日まで
- (4) 入札方式：公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）
- (5) 工事種別：鋼橋上部工事
- (6) 工事内容：工場製作工68t、工場塗装工1,431㎡、工場製品輸送工69t、床版工1式、橋脚工1式、歩道橋架設工1式、高欄工1式、照明設備設置工1式、仮設工1式

《公募型指名競争入札方式（総合評価落札方式）》

・競争参加者が少数と見込まれ、技術難易度が比較的低い工事について対象工事ごとに技術資料収集に係る公示資料の交付を受けて、競争参加希望者が参加表明確認申請書及び技術資料（参加要件は企業のみとして技術者要件を求めない。）を提出し、指名基準による選定を行い、指名された競争参加希望者により総合評価落札方式で落札者を決定するものです。

なお、総合評価は、災害活動実績を加算点としています。

《間接工事費実績変更方式》

- ・実績により変更を行う工種
共通仮設費（率分）のうち、「安全費」「運搬費」「営繕費」
- ・実績により変更を行う理由
本工事箇所は大型商業施設等に接し歩道上も狭隘となる他、全面通行止めも想定されることから交通規制帯が多く必要となるため「安全費」について標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されます。
また、工事箇所近辺には資材置場等の確保が困難であり、資材置場と現場の往復が一日に何度も発生することが想定されるため「運搬費」について標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されます。
さらに、現場事務所や労働宿舍の借り上げに要する費用は、工事箇所が水戸市内の大型商業施設等の商業施設集積地であるため「営繕費」について標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想されます。
そのため、「安全費」「運搬費」「営繕費」について、その妥当性を確認の上、実績により共通仮設費（率分）について変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

《見積活用方式》

- ・見積の提出を求める工種
直接工事費のうち、
「床版工—コンクリート、鉄筋、型枠、支保」
「橋脚工—コンクリート、鉄筋、型枠」
「高欄工—コンクリート、型枠」
に係わるもの。
- ・見積の提出を求める理由
本工事の床版工、橋脚工、高欄工は、大型商業施設等が接する現道を規制しての狭隘なヤード内での作業となるため作業効率が低下することが懸念されます。このため、標準積算と実勢価格に乖離が生じることが考えられるため、入札者からの見積提出を求め、その価格の妥当性を検証の上、予定価格に反映する「見積活用方式」を試行します。

《難工事指定》

本工事は、大型商業施設等が接する現道を規制した狭隘なヤード内での夜間作業の他、大型商業施設や地下駐車場、新築中の市民会館との近接施工であり、厳しい安全管理が必要であるため「難工事指定」を採用します。
「難工事指定」された工事は、完成時に70点以上の工事成績評定を通知された場合、今後発注される「難工事施工実績評価対象工事（試行）」の総合評価の評価項目において加点対象となります。

《スケジュール》

- | | |
|------------------|--------------|
| ○入札公告、入札説明書 交付 | 令和4年4月20日（水） |
| ○技術資料等 提出期限 | 令和4年5月12日（木） |
| ○入札書・工事費内訳書 提出期限 | 令和4年6月 3日（金） |
| ○開札日 | 令和4年6月 8日（水） |

公募型指名競争入札方式(総合評価落札方式)の試行について

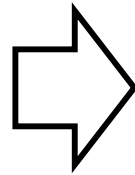
対象は
一般土木
C,B+C工事
維持修繕等

【メリット】

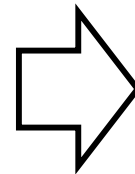
- ✓ 施工体制確保→発注工事の公募
- ✓ 資料は参加希望の意思確認時のみの提出
→資料の簡素化、合理化(個別発注時では不要)
- ✓ 手続期間の短縮
→指名通知から決定まで2週間程度
- ✓ **指名競争・総合評価落札方式**
→災害協定の締結や活動に係るインセンティブの向上

公示

(工事内容・入札時期・落札方式等)

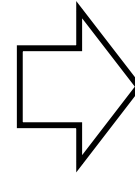


工事参加希望の意思確認・技術資料の提出
(参加意思表明申請書+必要資料の提出)



参加要件は企業とし、
技術者要件は求めない

指名基準による選定



発注(指名通知)

以降は指名競争・総合評価
落札方式の手続き



指名競争・総合評価落札方式により落札決定

(標準点100点+加算点(11点)+施工体制
評価点(30点))÷入札価格=評価値
※加算点は災害活動実績+賃上げの実施
に関する評価

公募による企業の参加

公募結果に基づく指名

災害協定の締結や活動に
係るインセンティブの向上